

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 市民スポーツ活動の充実

基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **青年センター管理運営事業**

[0513]

部名	教育部	事業開始年度	平成 - 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	平成 - 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>青年センター</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>施設の管理運営を指定管理者に委託する。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	58,797	59,560	59,033	53,090
活動指標2						
成果指標1	年間体育館等利用者数	人	52,705	58,010	59,266	56,500
成果指標2	年間プール利用者数	人	47,524	49,671	47,766	57,000
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	58,797	59,560	59,033	53,090
正職員人件費 (B)		千円	837	836	415	416
総事業費 (A) + (B)		千円	59,634	60,396	59,448	53,506

費用内訳	
21年度	委託料 59,033千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

市民がスポーツに親しむ場を提供することにより、市民の健康維持やスポーツの普及・促進につながっており、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

江別市が設置する唯一のスポーツ複合施設の一角にある青年センターは、様々なスポーツを行うことができる場を提供し、市民がスポーツに親しむ機会を増やすことに貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

学校週休2日制により児童生徒や親子連れの利用者が増えているとともに、高齢者も余暇の時間をスポーツに費やす傾向が見られ、市民皆スポーツという大きな目標に向け、成果が上がってきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

プールや体育室での教室事業などを通して、市民がスポーツに親しむことを習慣化できれば、スポーツに親しむ市民の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

平成18年度より指定管理者制度を導入した。